



見逃さない! 起こさせない!



みんなで守ろう 子どもの安全



▲児童・生徒の見守りを市民に呼びかけるポスター

今年6月に、都内の小学生児童が、下校時に校地外で不審者に襲われるという事件が発生したことをうけ、町田市教育委員会では、市立小中学校で作成している「不審者対応マニュアル」を見直し、登下校時についても対応を行っています。

教育委員会では、地域の皆さまに子どもたちを守っていただきたく、「児童・生徒の見守りを市民に呼びかけるポスター」を作成し、町田警察署、南大沢警察署、町内会自治会、神奈川中央交通株式会社、市内各鉄道会社のご協力を得て、下記の市内各所に掲示しています。また、町田警察署では、登下校時に学校周辺のパトロールも強化しています。

9月から新学期を迎えるにあたり、子どもたちの安全確保について、皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

主な掲示場所

- ・市の施設(市役所・図書館・体育館等)・市内交番・市内自治会掲示板・神奈川中央交通バス全車両内
- ・小田急電鉄(町田駅・玉川学園前駅・鶴川駅・小田急多摩センター駅構内)・京王電鉄(京王多摩センター駅・多摩境駅・橋本駅構内)
- ・東急電鉄(南町田駅・すずかけ台駅・つくし野駅構内)・JR 横浜線(町田駅・相原駅・成瀬駅構内)

登下校時の見守りにご協力をお願いします

主に小学生の登校(午前8時頃)、下校(午後1時半頃～3時半頃)の時間帯に合わせて、散歩や買い物に出ただけだったり、ご自宅前の掃除や花の水やりのために道路に出ただけなど、見守り活動をお願いします。

登下校時に、地域の皆さまから積極的に声をかけていただくことで、子どもたちが安心して通学できるようになります。また、地域の大人と子どもが親しくなることで、不審者を近寄らせない抑止効果が生まれます。



町田警察署からのお知らせ

みんなでまもろう
4つの約束



- ① 知らない人についていかない。
- ② ひとりで遊ばない。
- ③ 外にでかけるときはおうちの人に、誰と、どこで、遊ぶか(勉強するか等)、何時ごろ帰ってくるのか言ってでかける。
- ④ 連れていかれそうになったら大声で「たすけてー!」とさけぶ。

警視庁ホームページより

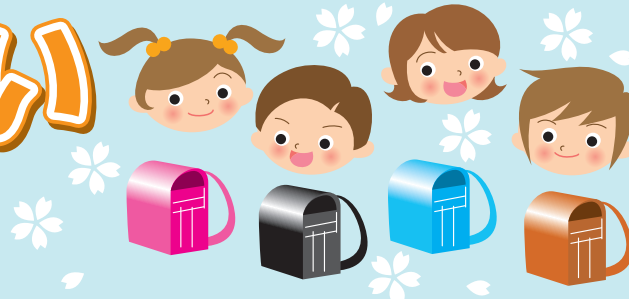
【保護者の方へ】 お子さんに上記の4つの約束を繰り返し教えて下さい。

【地域の皆さまへ】 不審な人物を見かけたら、ためらわずに **110番通報**して下さい。

詳しくは警視庁ホームページ(<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>)をご覧ください。

その他、子どもに関わるお気づきの点がありましたら、教育委員会指導課(724-2867)までご連絡下さい。

もうすぐ いちねんせい



毎年多くの子どもたちが、新しく町田市立小学校の一員として勉強をはじめます。
来春、町田市立小学校で学びはじめる子どもたちの、入学までの予定について
ご案内します。



2013年6月から8月までの間に、定例会が3回開催されました。27件の議案を審議し、23件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。

【議案】

- 町田市立小学校学校支援地域理事の任命について
- 町田市教育委員会教育目標

及び基本方針の改定について

【報告事項】

- 図書館事業計画の策定について
- 小学校給食における食物アレルギー症状の発症とその対応について
- 児童・生徒の登下校時における不審者対応について

教育委員会の動き

6月～8月

「学校を実際に訪問してこそ分かることがたくさんあります。その学校の子どもの様子、その学校の特色や学区の状況などを、感じることが出来ます。校長先生の学校経営への意気込み、先生方のご苦労、指導主事の熱意」



▲校長先生と話し合う佐藤委員長（中）と井関委員（右）

佐藤委員長

井関委員

7月10日（水）、高ヶ坂小学校で行われた指導主事訪問に、佐藤委員長と井関委員が同行しました。

指導主事訪問は、指導主事が学校で行われている授業を参観し、その学校が抱える指導上の課題について把握し、教職員と共に具体的な解決方法を検討していくものです。

教育委員会、指導主事とはまた違った立場で、授業風景をはじめ、実際の学校の空気に触れ、子どもたちの様子を知り、学校教育の現場の実態を把握することを大切にしていきます。

指導主事訪問で行われる研究授業を参観すると、担当する先生はその準備に大変な努力をされていることがよくわかる。そして互いに他の先生の授業を見て討論し、切磋琢磨して成長していくという生の場を見ることが出来る。」

「学校に着くと子どもたちが挨拶をしてくれる。校長先生に案内され教室に入ると『校長先生だ』と声が聞こえる。いいなと感じる一瞬である。指導主事訪問で行われる研究授業を参観すると、担当する先生はその準備に大変な努力をされていることがよくわかる。そして互いに他の先生の授業を見て討論し、切磋琢磨して成長していくという生の場を見ることが出来る。」

「学校に到着すると子どもたちが挨拶をしてくれる。校長先生に案内され教室に入ると『校長先生だ』と声が聞こえる。いいなと感じる一瞬である。指導主事訪問で行われる研究授業を参観すると、担当する先生はその準備に大変な努力をされていることがよくわかる。そして互いに他の先生の授業を見て討論し、切磋琢磨して成長していくという生の場を見ることが出来る。」

教育委員がゆく

～指導主事訪問
（高ヶ坂小学校）～

各施設まつり情報

文学館まつり

◆日時 10月27日(日) 10:00~16:00
◆場所 町田市民文学館ことばらんど(原町田4-16-17)
◆問い合わせ 739-3420

誰でも気軽に参加できるイベント盛りだくさん!文学館で秋の一日をお楽しみ下さい。

[共催] 町田市民文学館・文学館通り商店会・原町田四丁目第二町会・原町田四丁目第二地区街づくりの会

生涯学習センターまつり
~来て 見て 楽しんで~

◆日時 10月25日(金)・26日(土)・27日(日) 10:00~17:00
◆場所 生涯学習センター(原町田6-8-1・町田センタービル6・7階)
◆問い合わせ 728-0071

生涯学習センターを利用している市民のサークル・団体が中心となって行います。今年は、発表の部、展示の部、模擬店あわせて56団体が参加します。舞台ではダンス、和太鼓、ウクレレ、合唱、演劇等。ギャラリー等では俳句、絵画、生け花、パソコン、書道等、様々な分野の団体が日頃の成果を発表します。

来場者も一緒に参加・体験できるプログラムもありますので、是非お越し下さい。ご来場お待ちしております。



▲昨年の生涯学習センターまつりの様子(フィナーレの阿波踊り)

自由民権資料館まつり

◆日時 11月3日(祝・日) 10:00~16:00
◆場所 自由民権資料館(野津田町897)
◆問い合わせ 734-4508

今年も資料館や町田の歴史について少しでも知っていただければと「資料館まつり」を開催します。

当日はたくさんのイベントを企画中です。是非、資料館に足をお運び下さい。詳細は広報まちだ等でお知らせします。

展覧会情報

「赤川 次郎展
三毛猫ホームズから
愛をこめて」



10月19日(土)~12月23日(月・祝)
10:00~17:00(毎週金曜日は20:00まで開館)
休館日:毎週月曜日(11月4日は開館)、第2木曜日
場所:町田市民文学館 展示室

【観覧料】一般400円、大学生・65歳以上200円、高校生以下 無料
※ただし10月19日、10月27日、11月3日、12月23日は無料

本展は、玉川学園に在住した町田ゆかりの作家である赤川次郎氏の初の本格的な展覧会です。軽妙なユーモア・ミステリーにより10代の若い世代を中心に長く読み継がれ、人気を博している赤川氏の作家活動の軌跡を、膨大な執筆作品によって振り返ります。人間への信頼と愛情に溢れ、時間を経ても古びない作品の魅力と、そこに込められたメッセージを読み解き、人気の秘密に迫ります。会期中は、赤川氏の講演会をはじめ、様々なイベントを予定していますので、お楽しみに!

市民協働企画展

「市民の歴史研究事始め
-自由民権カレッジ一期生の成果-」

入館無料

10月26日(土)~11月24日(日)
9:00~16:30
休館日:月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日)
場所:自由民権資料館 企画展示室

当館主催の歴史講座「自由民権カレッジ」第一期生の研究成果および関連史料を展示します。

町田市歴史の二コマ

近藤勇を悼む大沼枕山の詩

臣爲其主義分明 堪嗟季布
尚惜生 酬知豈暇論順逆
新選組中第一名 嗚呼東
台東奥憤戦士 駢死無聞徒
爲耳 輪君授首板橋驛 奇
聲一日馳千里

「臣は其の主の爲めに義を分
明にす。嗚うに堪えたり、季
布、尚お生を惜しむを。知に
酬ゆるに、豈に暇を論する
に暇あらんや。新選組中第一
の名。嗚呼、東台・東奥憤
戦の士。駢死は徒為のみと聞
く無し。君に輸して首を授く
板橋の驛。奇声一日千里を
馳す」

これは、幕末・明治に活躍し
た漢詩人大沼沈山(1818
から逃れたのは笑うべきであ
る。知友に報いようとするの
にどうして正しいか誤ってい
るかを論じている暇などある
うか。近藤氏は新選組で二番に
名が挙がる人である。ああ、
上野や奥羽で奮戦した士たち
よ。彼らは多く命を落とした
が、それが無駄死ばかりだっ
たと言つのを聞いたことはな
い。近藤氏は主君のために尽
くし板橋の驛で敵に首を授け
た。そして、その名聲は一日に
して千里を馳せたのである。」
勇の死は、鹿之助にとって痛
恨事だったのでしょう。以後、
彼は勇の冤を雪ぐべく奔走す
るのです。



▲小島鹿之助

連載

町田市の文化財をご存知ですか

第12回 浄瓶(灰釉陶器)

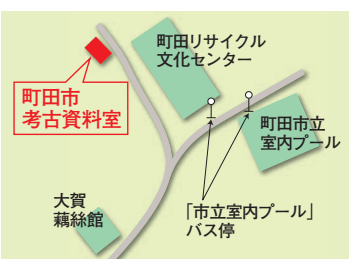
浄瓶は、仏前に浄水を供えるための仏具で、僧侶の出需品とも言われています。この浄瓶は、1995年に忠生遺跡の平安時代集落跡から出土しました。注ぎ口の部分は欠損していましたが、肩の盤口(水を入れる口)の造作から全体が復元できました。愛知県の猿投窯で焼かれたものと思われ、古代の国分寺跡や国府遺跡などから出土するような高級品です。忠生遺跡(木曽西二丁目付近)一帯は「こうしょう寺」の言い伝えがあり、これと関連した仏具の可能性もあります。この寺は村落内の私寺と思われるものですが、仏教が町田の古代にも浸透していたことを示す貴重な発見となりました。この浄瓶は、町田市考古資料室でご覧いただけます。



浄瓶(灰釉陶器)
復元高約28cm、忠生遺跡(木曽西二丁目)、平安時代(9世紀頃)

町田市考古資料室

住所:下小山田町4016
開室日:第2・第4土・日曜・祝日
10:00~16:00
案内:町田バスセンターからバスで
市立室内プール下車、徒歩10分
電話:797-9661 ※駐車場あり



成瀬台小学校の教育

～縦割り班活動をととして～

- ・お互いを大切にし、ともに生きる子ども
- ・よく考え行動する子ども
- ・心も体もたくましい子ども

本校の特色ある教育活動の一つに、異学年交流の縦割り班活動があります。4月に1年生から6年生の全学年が混じった縦割り班(21の班)を編成し、6年生のリーダーを中心に、活動しています。

本校の取り組みでは、まず6年生を育てるために、リーダー会を月に1回開いています。リーダー会では、班活動(成瀬台タイム)や縦割り班行事の計画や調整、役割分担などを話し合います。この会をととして、リーダーとしての自覚が高まり、班をまとめようと意欲的になります。



▲全校遠足

どこで遊ぶのかも、班ごとに決めています。「クリーンタイム」は全校一斉清掃です。班の活動教室や分担した場所の大掃除をしています。

子どもたちが学年をこえてふれあうことは、どの子にとっても貴重な体験です。高学年は、自主性やリーダー性が育ちます。中学年は、高学年に協力し、共に行動することの楽しさを学びます。低学年は、約束を守ることの大切さを身に付けていきます。そして、どの子も相手に対する思いやりの気持ちをもって行動できるようにとの願いから、成瀬台小学校の伝統として、縦割り班活動が受け継がれています。



▲台小まつり

縦割り班の大きな行事は「台小まつり」「全校遠足」「クリーンタイム」です。「台小まつり」は子どもたちの手作りのお祭りです。お店は班毎に出し、準備も班で行います。「全校遠足」は『子どもの国』へ歩いて行きます。出発からお弁当タイムまで、ずっと班行動です。園内のどこを回り、



▲クリーンタイム

鶴川第三小学校の教育

～“実”になる学校「鶴川第三小学校」～

本校近くには、地名の由来となった鶴見川が流れています。里山の原風景が残っていますし緑豊かな公園も点在しています。旧白洲次郎邸も徒歩5分ほどの距離にあり、鎌倉時代以来の由緒ある地名も残っています。自然と歴史に恵まれた土地です。この、のびやかな地域に育った子どもたちの、なんと健やかなこと。

本校の朝は、児童によるあいさつ運動の爽やかな「おはようございます」で始まります。笑顔に迎えられ昇降口



▲芝生の上で

に入ると、100m以上の真っ直ぐな廊下を通り教室に向かいます。学校長が水やりや芝目揃えを行い、丹精込めた中庭の芝生の上で、休み時間には子どもたちの歓声が響きます。楽しい給食の時間には、名シェフ調理員さん達と栄養士による旬の食材や地域の食材を取り入れた給食が大人気です。食缶が空っぽになる美味しさ。食育の大切さを感じます。また、鶴川第二中学校と側道を挟んで隣接しています。この近さを活かして小・中の授業規律を統一し、小学校での学習を徹底しながら中学校へのスムーズな移行を目指しています。

本校の校庭には、柿、びわ、みかんなど多くの実のなる木が植えられています。教育活動全体を通して、「充実し、確実で、着実な」、「実」のある学力や体力向上に、全学年・全教員で取り組んでいます。

地域の方々からの多大なご支援も本校の力の一つです。サマースクールやクラブ活動、読書活動など幅広く支えていただいています。

この場を借りて御礼申し上げます。



▲あいさつ運動



▲授業風景



わがまち学校たんけん隊!

小山小学校の教育

～地域に学び、地域に生きる小山っ子～

小山小学校は、今年度、創立140周年の記念すべき節目の年を迎えました。明治6年に、沼の長泉寺並びに田端の民家を校舎の代わりとし、それぞれ「誠教学舎」、「新民学舎」として誕生しました。そして、数々の歴史の変遷を経て、現在の小山小学校に至っています。現在、特別支援学級2学級を含め、28学級、854名の児童が小山の地域の皆さまの学校教育への熱い思いに支えられ、学校生活を送っています。

昨年度から校内研究の主題を「地域に学び、地域に生きる小山っ子」とし、これを具現化するために、生活科、総合的な学習の時間の授業を通して研究を進めています。今年度から2年間の町田市研究推進校を受け、来年度は、研究の成果を発表します。

特色ある教育活動の1つ目に、たくさんの保護者、地域の皆さまが学習ボランティアとして支えてくださっている「学習活動」があります。主に、梅もぎ、野菜の栽培、カイコの飼育、校内での稲作、搾乳体験、片所谷戸の自然観察、地域のお店探検、茶道・華道教室等です。2つ目に「食育」です。栄養士、食育担当教員が中心となり、日本各地の郷土料理や世界各国の料理を給食に出しています。また、地場産の野菜や牛乳を使った料理も出ます。また、「食」の学びの掲示コーナーの設置や食育指導を進めています。

小山小の児童が伝統と歴史を受け継ぎ、学びを大切に、夢を抱いて将来へ羽ばたいていくことを願い、保護者、地域の皆さまと協働し、日々、教育活動を展開しています。

小山小の児童が伝統と歴史を受け継ぎ、学びを大切に、夢を抱いて将来へ羽ばたいていくことを願い、保護者、地域の皆さまと協働し、日々、教育活動を展開しています。



▲脱穀体験



▲茶道教室



▲搾乳体験

金井中学校の教育

～地域・保護者に支えられた教育活動～

「金井中の特色ある取り組みから」

- ・集中する授業
- ・熱心な部活動
- ・団結力のある行事

本校では、全学年全学級で毎朝10分間、『朝読書』を実施しています。静かな雰囲気の中で読書することで、集中力がつき、読書習慣だけではなく、授業規律も身に付けています。

秋には、近隣の金井商店会や事業所などに協力していただいて「絵手紙展ギャラリーウォークin 金井」を行っています。この取り組みは、本校の1年生が中心となり、カボチャや柿、



▲わくわく部活動体験

くわく部活動体験」を実施しています。参加した小学生(6年生)からは、「先輩たちが、やさしく教えてくれた。」「本格的で真剣だった。」「すごく疲れたけど、楽しかった。」など多くの感想が寄せられ、中学校進学に向けて期待が膨らんでいく様子が伺えました。

クラス全員で協力して取り組む3学年の「大ムカデ」は、本校の体育祭を代表する学年種目として地域や保護者から毎年期待されており、生徒たちの大きな励みにもなっています。



▲絵手紙展ギャラリーウォークin 金井

また、学区内の小学校と連携して、本校に入学を希望する小学生を対象に、部活動の体験を通して中学校を身近に感じてもらえるよう「わ

くわく部活動体験」を実施しています。参加した小学生(6年生)からは、「先輩たちが、やさしく教えてくれた。」「本格的で真剣だった。」「すごく疲れたけど、楽しかった。」など多くの感想が寄せられ、中学校進学に向けて期待が膨らんでいく様子が伺えました。



▲3年学年種目「大ムカデ」